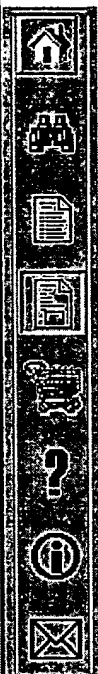




JP11091786

Biblio

Page 1



HANGING TOOL FOR DRINKING WATER CONTAINER (PET BOTTLE)

Patent Number: JP11091786
Publication date: 1999-04-06
Inventor(s): NAKANISHI MAKOTO
Applicant(s):: NAKANISHI MAKOTO
Requested Patent: ☐ JP11091786
Application Number: JP19970287549 19970911
Priority Number(s):
IPC Classification: B65D23/00 ; B65D25/22
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To cause a drinking water container (PET bottle) to be portable for an outdoor use in which it can easily be held by hand or hung in a hand-free state during its carrying.

SOLUTION: A recessed part or protruded part of a neck throat portion which is common in all kinds of drinking water containers (PET bottle) is held at its both sides by a hanging stopper 1, throated by a passing strap 2, applied to the recessed part and hung to cause it to be hung, thereby the weight of the drinking water container (PET bottle) causes the strap to be fastened and then the container is applied to its use by connecting the strap to a hanging ring 4 having a waist belt hanging hook 3.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-91786

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月6日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 5 D 23/00
25/22

識別記号

F I

B 6 5 D 23/00
25/22

P
A

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-287549

(22) 出願日 平成9年(1997) 9月11日

(71) 出願人 597148150

中西 信

埼玉県上尾市谷津2丁目1番地1号 ソフ
ィア上尾A-607

(72) 発明者 中西 信

埼玉県上尾市谷津2丁目1番地1号 ソフ
ィア上尾A-607

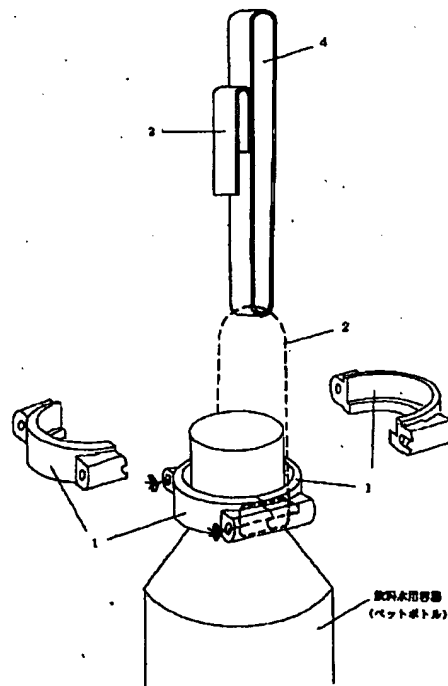
Best Available Copy

(54) 【発明の名称】 飲料水用容器 (ペットボトル) 吊り下げ具

(57) 【要約】

【目的】 屋外での飲料水用容器 (ペットボトル) の使用時、持ち歩くうえで、手にもちやすく、かつ手を使わずに吊り下げて携帯できるようにする、下げ具。

【構成】 飲料水用容器 (ペットボトル) に共通している、首部の凹凸部を、吊り下げ用止め具1にて両側から挟み込み、通し紐2にてしぼり、凹部分にからめて吊り下げることにより、飲料水用容器 (ペットボトル) の自重で締め込み、腰ベルト引っ掛け用フック3付き吊り輪4と接続して使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 飲料水用容器（ペットボトル）の頭部及び首部に取り付けして、吊り下げ携帯ができるようにした、飲料水用容器（ペットボトル）吊り下げ具。

【発明の詳細な説明】

【0001】この発明は、飲料水用容器（ペットボトル）を吊り下げることができるようにした吊り下げ具に関するものであり、これにより飲料水用容器（ペットボトル）の携行をしやすくするものである。

【0002】従来、飲料水用容器（ペットボトル）はテーブルの上に置いたりして使用されていたが、小型化により屋外での使用もふえ1回で飲みきれない分を、持ち歩くうえで、手の指でペットボトルの頭部を持ってぶら下げたり、手の平で持ったり鞆に入れて携帯していたため、手で持つための持ちにくさ及び、手で持つための不便さ、鞆から取り出すための手間がかかった。

【0003】飲料水用容器（ペットボトル）は、そのままの形態では携帯には適さないため、吊り下げ具により飲料水用容器（ペットボトル）を固定し、腰ベルト引っ掛け用フック付き吊り輪を接続することで手で持つための持ちにくさ及び、不便さ、を解消し、腰につることで鞆からの取り出すための手間をなくすものである。

【0004】飲料水用容器（ペットボトル）に共通して

いる、首部の凹凸部分を、吊り下げ用止め具1にて両側から挟み込み、通し紐2にてしぼり、凹部分にからめて吊り下げることによりペットボトルの自重でしめこみ、腰ベルト引っ掛け用フック3付き吊り輪4と接続して使用する。

【0005】以上の構成であるから手を使わず腰ベルトに下げたり、ナップサックのフックに下げたり、手に持っても持ちやすくなる。

【0006】吊り下げ用止め具については、両側から挟み込み方式の他に、図3による頭部を包み込むソケット方式、図4による頭部にねじこむキャップ方式、図5による頭部横からの引っ掛け方式が考えられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図

【図2】 吊り下げ用止め具の平面図、側面図、断面図

【図3】 吊り下げ用止め具でソケット方式の断面図

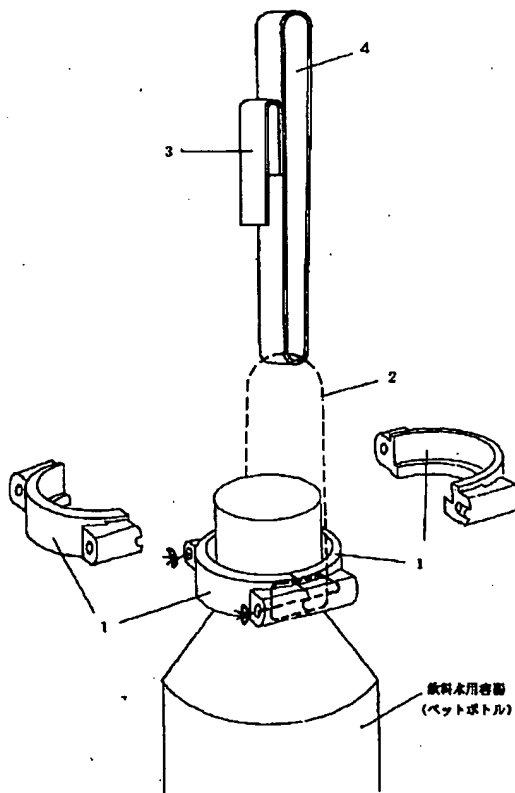
【図4】 吊り下げ用止め具でキャップ方式の断面図

【図5】 吊り下げ用止め具で横からの引っ掛け方式の断面図

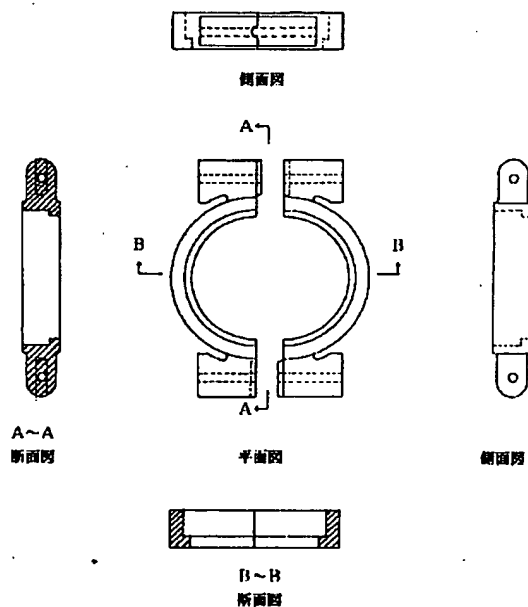
【符号の説明】

1 吊り下げ用止め具 2 通し紐 3 腰ベルト
引っ掛け用フック
4 腰ベルト引っ掛け用フック付き吊り輪

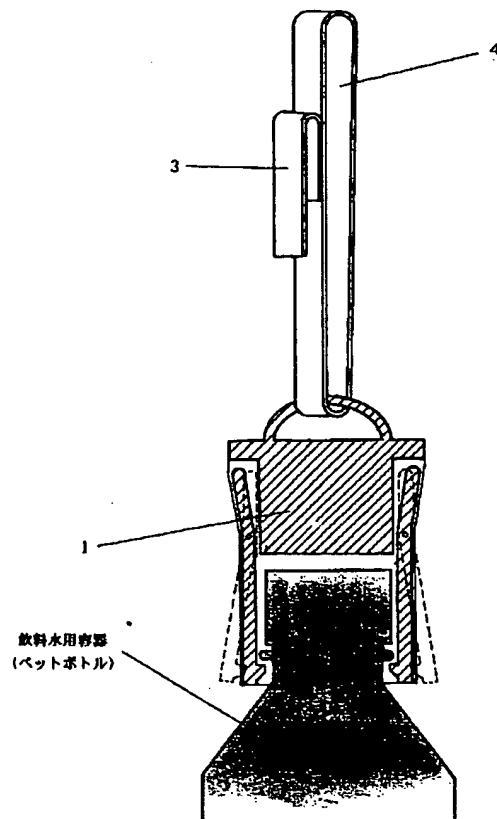
【図1】



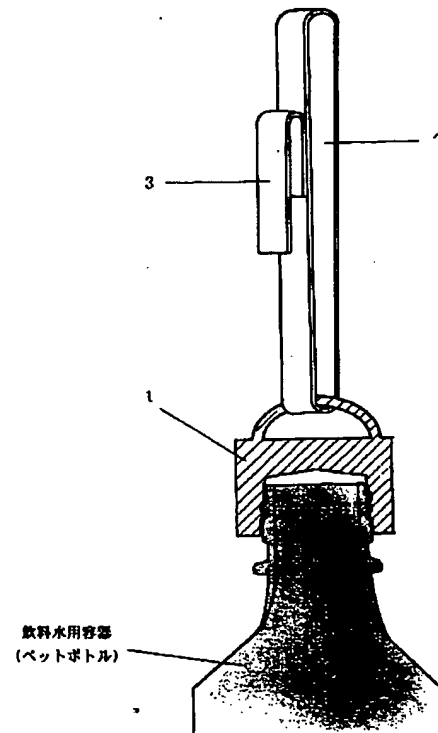
【図2】



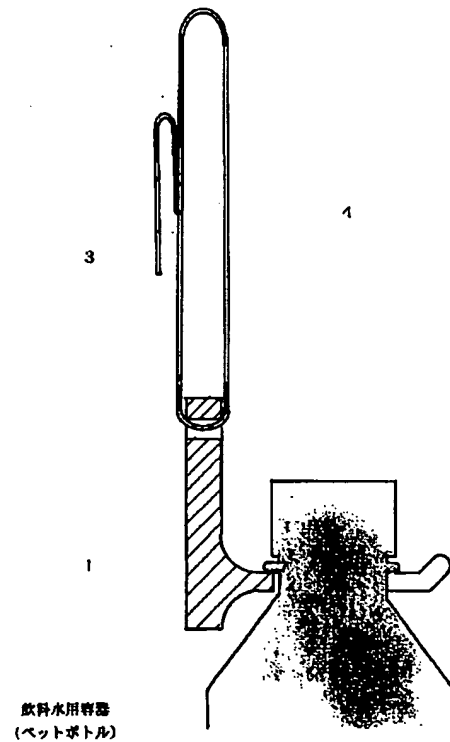
【図3】



【図4】



【図5】



Best Available Copy